

東芝ライフスタイル(株)

製品種類: エアコン

機種名: RAS-N402DR

販売年度: 2023年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	
2	再生資源・再生部品の使用	
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	✓
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	✓
13	安全性	
14	情報の提供	✓
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

昨今の電気代高騰や物価の上昇によって、ユーザーの節約志向が高まりを見せており、中でも家庭の消費電力量の多くを占めるエアコンでは、省エネ性能が高い製品へのニーズが高まっている。本製品は、新省エネ基準※1を達成したほか、「レーダー」を活用した「節電冷房※2」モードの新搭載など、省エネ性を向上した。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

【新規】

節電しながら快適に冷房を使用できる機能として、「節電冷房」モードを新搭載。冷房運転時に「節電冷房」モードにすると、高精度の「レーダー」が人の位置を感知してエアコンから一番近い人に風を当てながら、通常よりもひかえめの冷房運転を行う。一般的に風速1m/sの風を受けることで、体感温度は1℃前後下がるため、ひかえめの冷房運転で電力消費を抑えられる一方、「レーダー」で風向をコントロールしながら風を送り続けることによって体感温度を下げられ、節電しながら快適に過ごすことができる。

2. 情報の提供 [14]

【新規】

当社提供のスマートフォン専用アプリに、エアコンの電気代を表示する機能を追加。対応するエアコンをアプリに登録すると、過去12ヶ月分または過去30日分の電気代推移をグラフでチェックすることができる。さらに、対応するエアコン全ての電気代をまとめて一覧で見られるほか、あらかじめ設定した目標金額を超えるとスマートフォンにお知らせする機能も搭載している。

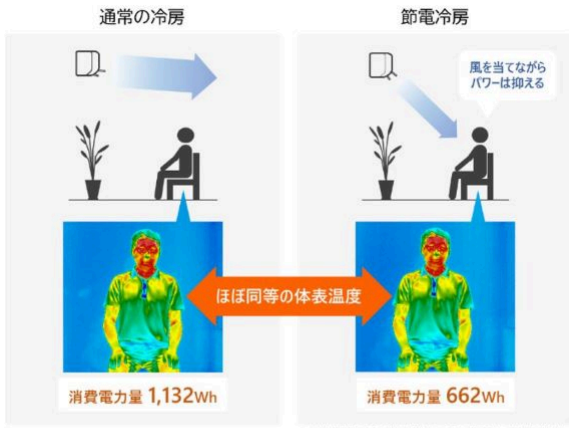
3. 環境保全性 [12]

J-Moss に対応

※1：2027年度を達成目標年度として策定した製造事業者等が目標年度に満たすべき省エネ基準

※2：RAS-N402DRにおいて当社独自の条件により評価。当社環境試験室(11畳)にて、通常冷房運転と節電冷房運転との比較。外気温35℃、設定温度「24℃」、風量「自動」にて、安定時1時間の消費電力量の比較。通常冷房運転時1,132Wh、節電冷房運転時662Wh。

構造等の図



<サーモカメラによる、通常の冷房と節電冷房の体表温度比較>

通常の冷房と節電冷房の体表温度比較



アプリイメージ